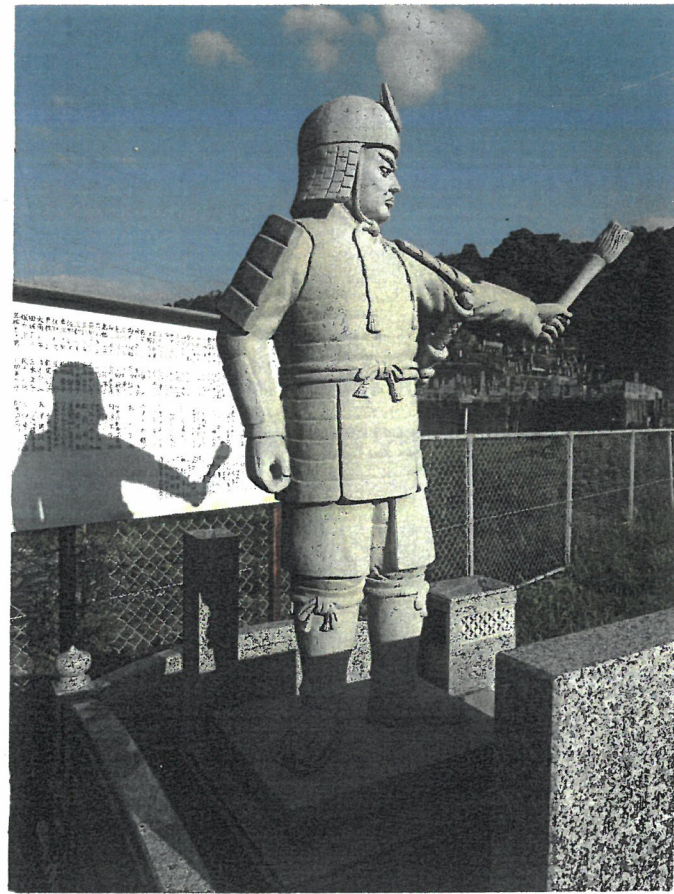


天正の陣とトンカカさん踊り
—ふるさとの歴史を継ぐ金栄太鼓台—



金栄小学校 6年 野村 悠華

目次

1 調べたわけ

2 分かったこと(天正の陣)

(1) 天正の陣について

(2) 天正の陣のときの金子元宅について

(3) 天正の陣に関係する所

(4) 金栄トンカカさん踊りの口貝

3. 考えたこと・感想①

4 分かったこと(金栄太鼓台)

(1) 「天正の陣」の幕

(2) 太鼓台を作ろうと思ったのは

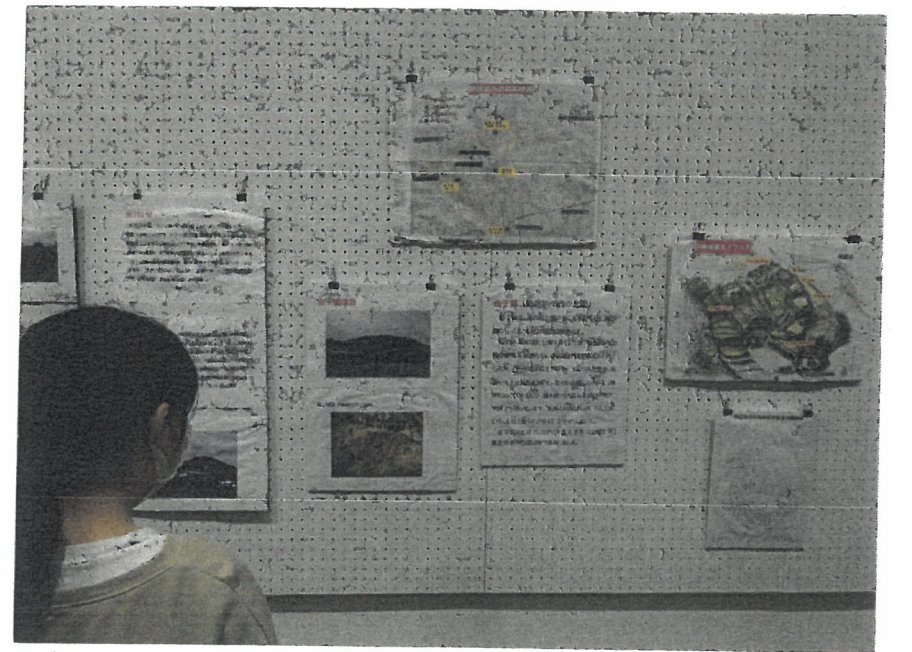
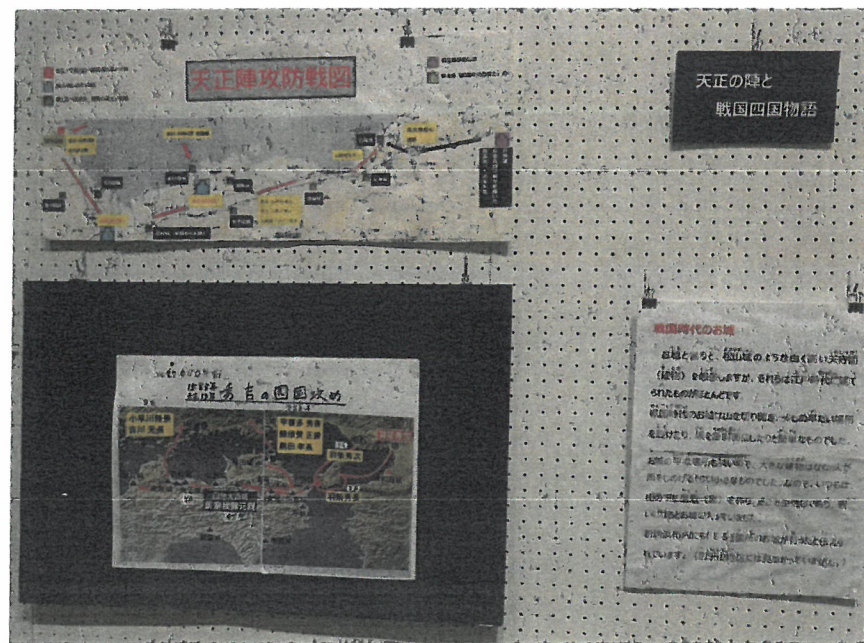
(3) 金栄太鼓台がどうなっていくとうれしい?

5 考えたこと・感想②

参考資料

1 調べたわけ

令和3年1月にあかがねミュージアムであった『天正の陣と戦国四国物語展』を見に行っ
たのがきっかけです。3年生のときのふるさと学習で政枝にある青木神社について調べま
した。まっられている青木さんは天正の陣で亡くなった人でした。天正の陣がどのような
ものだったのかと、青木神社以外で天正の陣に関係する所を知っておきたいと思っ
てふるさと学習をしました。



2 分かったこと(天正の陣)

(1) 天正の陣について

(参考) 『宗像神社のホームページ』 <https://munakatajinja.net/free/rekishi-2>
<https://munakatajinja.net/free/rekishi-3>

『天正の陣と戦国四国物語展展示資料』

- 天正3年(1575) ... 長宗我部元親が土佐(高知県)を統一。
伊予(愛媛)・阿波(徳島)・讃岐(香川)へ侵攻。
- 天正9年(1581) ... 長宗我部元親が讃岐と阿波をほぼ制圧した。
金子城の金子元宅は長宗我部元親と同盟を結ぶ。



- ・天正10年(1582)…本能寺の変後、羽柴秀吉(豊臣秀吉)が天下統一へ動き出す。
- ・天正13年(1585)…秀吉の四国攻め
秀吉の命令で毛利勢(小早川隆景・吉川元長)3万が攻めてくる。金子城側は数千とも2千とも。

この四国攻めの、伊予側からの呼び名が、「天正の陣」



(2) 天正の陣のときの金子元宅について
(参考)『惣眼禅寺』

- ・「強きものに従い弱きものを攻めるのは義ではない。利害得失を知り義理を知らざるものは、卑怯者である。眉をひそめて生きながらえるより、討ち死にして名を後生に残すべきである」と言って最後まで戦ったことが分かりました。
- ・元宅は金子城を弟の元春に任せ、自分は西条の野々市原で戦って討ち死にします。

(3) 天正の陣に関する所

ア. 五輪塔… 金子氏を供養するもの



イ. 福寿谷古戦場跡



東に血塗の池があったと書かれていました

ウ. 天正之陣滝の宮口



エ. 金子城址



オ. 慈眼寺…天正の陣でせくなつた武將を弔う
元宅の弟元春がお坊さんになつた



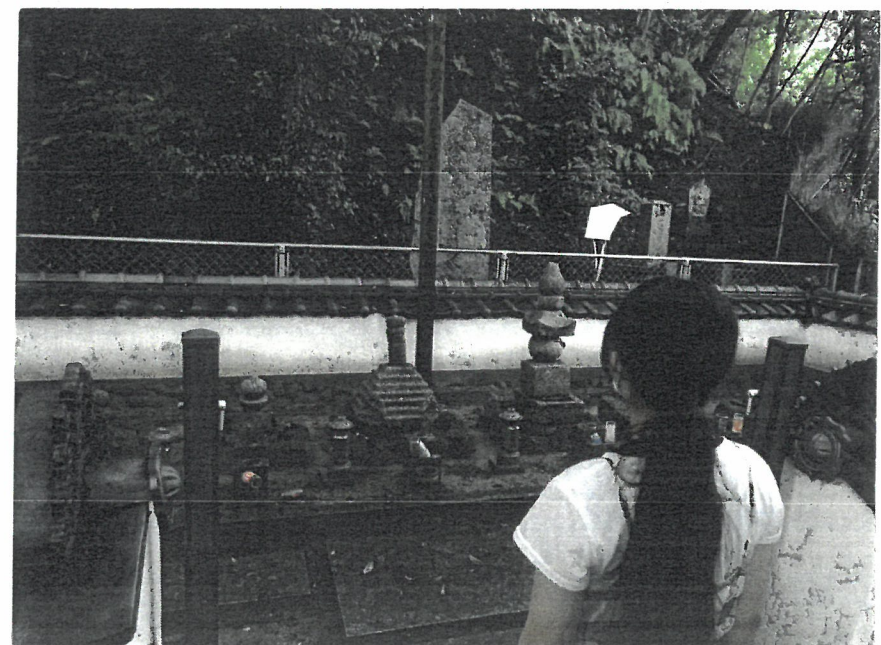
カ. 慈眼寺の中にある
金子備後守元宅公墓碑



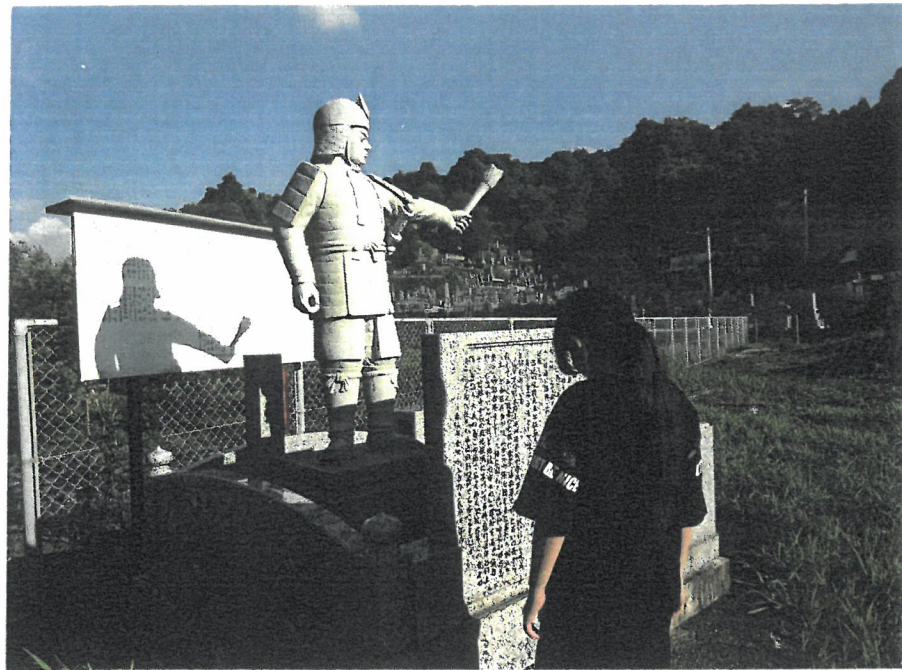
キ. 慈眼寺の中にある金子備後守の墓(中央)



ク. 奥の石碑は弟の金子元春公供養塔



7. 五輪塔の近くに立つ戦国武者像



金栄トシカカさん踊り保存会の名前で、同盟を守ろうとした勇者、郷土を守ろうとした勇者を供養するため、たたえるために建てられたことが書かれていました。

トシカカさん踊りは、敵の大將小早川隆景が、天正の陣でせくなつた人を弔うために舞った舞がもとになっていることも書かれていました。

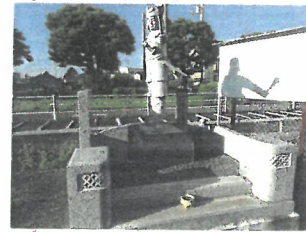
福寿谷古戦場跡



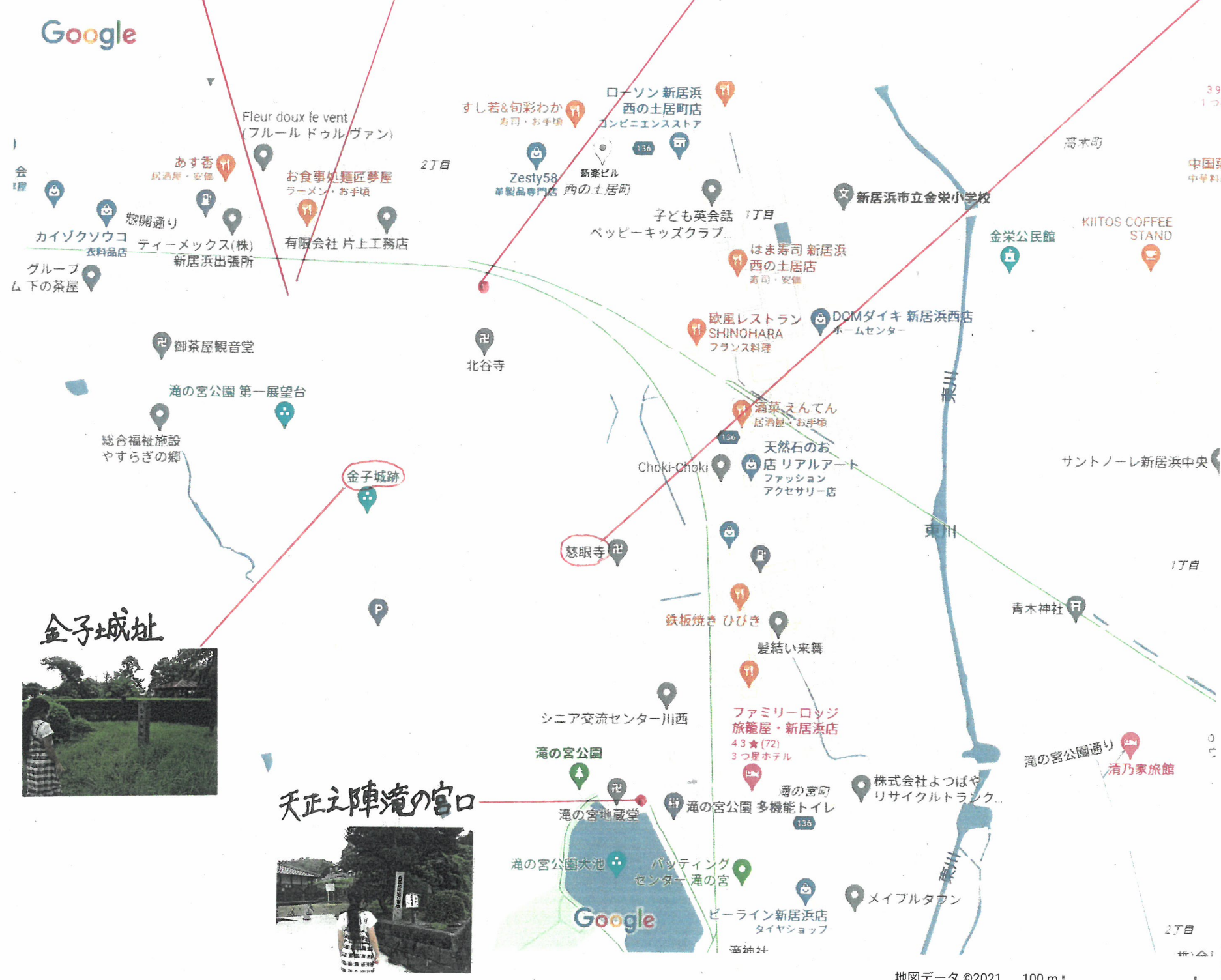
五輪塔



戦国武者像



慈眼寺



金子備後守元宅公墓碑



金子備後守の墓(中央)



金子元春公供養塔



金子城址



天正之陣滝の宮口



(4) 金栄トニカカさん踊りの唄

(参考) 『金栄会のホームページ』 <https://kinnei.jimdofree.com/トニカカさん踊り/>

2番 ♪ 文月なかばに寄せくる敵は 隆景軍の参萬騎

3番 ♪ 軍議まとめる金子の殿は 義理の義の字の花と散る



運動会で踊っていました。

歌詞に、小早川隆景軍が3万だったこと
金子元宅が同盟を大事にして亡くなった
ことが出てきます。

3 考えたこと・感想①

外に出ることが少なくなっていて、お寺などに行くこともなかったけど、天正の陣についていろんなことを知ることができました。自分の身近なところで昔、戦いがあって多くの人々が亡くなってしまったと考えると悲しくなるけど、それを伝えることが大切なんだと分かりました。

滝の宮公園も知らなかっただけで戦いと関係がある場所で、自分も踊ったことがある踊りも戦いと関係していることに驚きました。トシカカさん踊りは、なんでこの曲があるんだろうと思いつながら、深く考えずに踊っていたので、今回意味がよく分かり、しっかり踊りたいと思いました。



あかがねミュージアムの『天正の陣と戦国四国物語展』では「天正の陣」を題材にしている金栄大鼓台の幕のことも紹介されていました。最初は「負けた戦いをテーマにする？」と思いました。が、「約束を守って最後まで戦った人たちをたたえているのではないか？」と思うようになりました。自分の予想はそうでしたが、実際のところはどうか、金栄大鼓台運営委員会の横山会長に話を聞きました。

4 分かったこと (金栄太鼓台)

(1) 「天正の陣」の幕

負けたけど、郷土を守ろうとした戦い。
地元の歴史を知ってもらいたかった。
伝統や文化を子どもたちに継承していけたら。



お祭りの初日には、五輪塔に行ってあいさつをするそうです。

↑
毛利軍襲来



そして、トンカカさん踊りの唄も移動中や休憩中に流すことがあるそうです。

(2) 太鼓台を作ろうと思ったのは

金栄校区で生まれ育ったお父さんがよく、「自分らが子どものときは大人太鼓台がなかったし、大人になっても他のところにかかせてもらいに行きよったけん、金栄に太鼓ができるってなってうれしかった」と話しているのを聞きます。

横山会長に、太鼓を作ろうと思った理由も聞きました。

他の地区には太鼓があって、子どもが大きくなったときに触れ合える。

金栄でも太鼓台という伝統文化に触れ合えるように。

金栄の方々が自分たちの歴史を作っていけるように。

他の地区に行って太鼓をかかせてもらうことがないように。

さみしい思いをすることがないように。



(3) 金栄太鼓台がどうなっていくと嬉しい？

地域のシンボル、大事な伝統文化としてこの先続いてくれたら。

自分らで作ったけど、地域のものとか校区全体の人のもんという感じで

“預かりもの”。次の時代の子どもたちに受け継いでいけたら。



5 考えたこと・感想②

自分が住んでいる地域の歴史を知ってもらえて、子どもに継承していけることが太鼓の幕にするいいところだと思いました。勝った戦だから知ってもらう、負けた戦だからなかったことにして伝えていかないというのは違っていて、命をかけて戦った人たちをたたえて幕にして、いろいろな人に知ってもらうきっかけになったらいいと思いました。

新居浜全体に大人太鼓が当たり前のように元からあったと思っているところがあって、金栄校区に大人太鼓が最近までなかったのは知らなかったです。太鼓を作るにはお金がたくさん必要だったり、協力も必要だったりして大変だと分かっているのに、子どもが大きくなったとき伝統と触れ合うことができるように太鼓を作ったのがすごいと思いました。

話の最後に横山会長から「金栄に太鼓があってうれしい？」と聞かれ、私は「はい」と答えました。すると横山会長は、「そう思ってもらえるように、作ったんよ」と笑顔でした。自分たちのことだけじゃなく子どものも考えてくれていたと知ると、うれしかったです。



お祭り集会



輝～かがやき～



金子元春と長宗我部の援軍

地域にはまだまだ自分たちが知らない歴史や受け継がれてきたものがあると思います。「何かな」と思う気持ち大切に、知っていきたいと思います。これからもふるさとを大事にして、歴史をつないでいきたいです。

参考資料

※ ホームページ

・ 宗像神社 <https://munakatajinja.net/free/rekishi-2>

<https://munakatajinja.net/free/rekishi-3>

・ 金栄会 <https://kinnei.jimdofree.com/トシカカさん踊り/>

※ 慈眼禅寺

※ 天正の陣と戦国四国物語展展示資料

